

令和元年度 奈良市・宇佐市「天平の船」市民交流事業について

今年度、奈良市の友好都市である宇佐市との「天平の船」市民交流事業が奈良市で開催されます。

今回、宇佐市からは高校生が、奈良市からは中学生が奉納揮毫を行いますので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 日時及び場所

令和元年10月20日(日)

- ・午前9時20分から11時まで
- ・東大寺 中門前(右○部)

※雨天決行

2. 宇佐市からの参加者

奉納者を含め合計20名

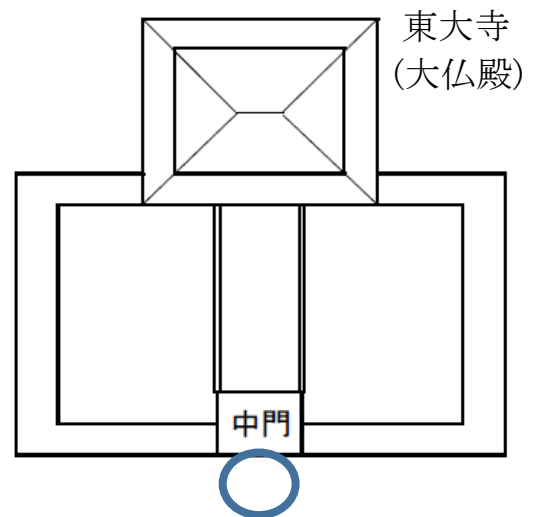
(奈良市滞在は、19日・20日)

3. 奉納について

1. 奈良市 : 書道部(奈良市立飛鳥中学校 書道部)9名 約15分
2. 宇佐市 : 書道部(大分県立宇佐高等学校 書道部)11名 約15分
3. 両市によるコラボ : 約15分

※取材される場合は、貴社腕章を装着してください。

※当事業の専用駐車場は完備しておりません。



奈良市と宇佐市 友好都市提携:平成16年7月30日

- ・ 古くは聖武天皇が東大寺を建立する際から、密な交流があり、東大寺の鎮守として大仏開眼の際には手向山八幡宮も建立された。全国八幡社の総本山である宇佐八幡とは深い関係性を持つ。
- ・ 「天平の船」  
友好都市である宇佐市と奈良市が民間交流を行う事業として、両市の市民グループ等を互いに招致し、奉納演舞をはじめ様々な交流を行うことで、歴史的な繋がりやお互いの市について周知を図るとともに、両市民の次世代に繋がる交流を行うことを目的とする。